

准教授

浜谷 小百合

■ 学歴

1. 2023年 福岡女子大学大学院人間環境科学研究科博士課程 卒業

■ 学位

1. 2023年 博士（人間環境科学）

■ 研究分野

1. 栄養教育
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

1. 子どもの食育
2. 栄養教諭
3. 学校給食

■ 研究課題

1. 学童期の子どもの食育指導の効果とその検討
- 2.

■ 担当授業科目

1. 学校栄養指導論Ⅰ（前期）選択
2. 学校栄養指導論Ⅱ（後期）選択
3. 栄養教育実習事前事後指導（3期）選択
4. 栄養教育実習（通年） 選択
5. 教職実践演習（後期）選択
6. 総合演習Ⅰ（前期）必修
7. 臨地実習Ⅰ（後期）必修
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|---|
| 1. | 授業科目名【学校栄養指導論Ⅰ】 |
| | 本科目は、栄養教諭の職務内容やその役割について学ぶ専門科目である。また、学校給食の意義と役 |

	割の理解を深め児童生徒の食に関する課題とその解決策を探ろうとする意識や態度を持つことを目標とする。講義では、栄養教諭の実務経験から得た実践事例を適時提示しつつ、理論のみの修得とならないよう授業構成の工夫を行った。また、複数回のグループワークや ICT を活用した食育指導の検討等を取り入れ、主体的な学びにつながる工夫を行った。
2.	<p>授業科目名【学校栄養指導論Ⅱ】</p> <p>本科目は、学校栄養指導論Ⅰをふまえ、小中学校における食に関する指導内容、授業構想案の作成及び具体的指導方法を理解することを目標とする。授業実践に必要な学習指導案の作成や授業展開の検討、教材研究の方法等の教育技術を習得することを目指した。学習指導案の作成については個別の指導を行い、現実的な授業計画となるよう導いた。</p>
3.	<p>授業科目名【栄養教育事前事後指導】</p> <p>本科目は、実際の教育現場において栄養教育実習を行う際の心構えや留意事項、具体的な指導方法を理解・習得し、実習を着実に進めることができることを目標とする。実習終了後には実習時の反省や問題点等の分析を行い、今後の教育実践へと繋ぐことも目標としている。授業においては学習指導案の作成や模擬授業を複数回実施し、実習校での授業実践を行うことができる指導スキルの習得を目指した。また、希望者には更に個別指導を実施し、指導技術の向上を図った。実習終了後は実習報告書やプレゼンテーションを作成し、実習報告会を実施した。</p>
4.	<p>授業科目名【栄養教育実習】</p> <p>本科目は、これまでに履修した教職科目の理論やスキルを基盤に学校での食育指導の一端を体験することを目標とする。また、児童生徒の人格形成と身体の成長と発達に寄与しつつ、教育における研究課題を発見し、自己の望ましい教師像を形成することを目標とする。栄養教育実習期間中には実習校の管理職や学級担任、栄養教諭との意見交換を行い、実習後の学生に対する指導と次年度以降の栄養教育実習に向けた改善に役立てた。</p>
5.	<p>授業科目名【教職実践演習】</p> <p>本科目では、他学科の教職課程指導者と協力した授業を実施し、将来的に栄養教諭になるために各自に必要と考えられる課題の発見と向上を目標とした。授業では、栄養教育実習終了後、教師としての資質能力に関する自己確認シート等を活用し各々の残された課題の発見を行った。それらの課題についてのグループワークやディスカッションを演習に取り入れ、意見交流や自己の課題解決を目指す場とした。外部講師として現職の栄養教諭を招いて意見交流を行い、栄養教諭の実務に対して多様な視点を持たせ、栄養教諭になるための学びの集大成とした。</p>
6.	<p>授業科目名【総合演習Ⅰ、臨地実習Ⅰ】</p> <p>本科目は、臨地実習Ⅰ（小学校、事業所、児童福祉施設、高齢者福祉施設における給食の運営に関わる学外実習）と併せた演習である。実習前の指導、実習の事前課題学習、実習時に行う栄養指導媒体作成、実習報告会時のプレゼンテーションの作成に関し、本科目担当教員、助手教員とともに演習時間外も含めて指導に尽力した。臨地実習中には、実習先の管理職（施設長）及び関係職員の方々と意見交換を行い、実習後の学生指導や次年度以降の臨地実習の改善に役立てた。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2015年5月～現在に至る	日本栄養改善学会	

2.	2017年1月～現在に至る	日本食育学会	
3.	2020年11月～現在に至る	日本公衆衛生学会	
4.	2021年9月～現在に至る	日本健康支援学会	
5.			

■ 研究業績等に関する事項（2024年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
(著書)					
1.					
2.					
3.					
(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外 者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023年4月～現在に至る	教職課程委員会	
2.	2024年10月～現在に至る	FD委員会	
3.			